

令和2年度第4回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和3年2月5日（金）

開催方式：書面会議

議 題

- 1 コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について
- 2 小規模保育事業所の認可にあたっての意見聴取について

配布資料

資料1	委員ご意見まとめ
資料2	素案からの変更点
資料3	設問項目一覧
資料4	調査票
資料5	調査票（素案）【前回会議配付資料】
資料6	小規模保育事業所認可に係る意見聴取

出席者(敬称略)

○委員

- 西島 由美 (にしじま小児科院長)
松山 洋平 (和泉短期大学准教授)
服部 榮 (社会福祉法人雲柱社理事長)
星野 操 (文花子育てひろば施設長)
会田 尚之 (第一寺島小学校PTA会長)
鈴木 真由美 (青少年委員協議会委員)
酒井 萌佳 (マミーズエンジェル墨田みなみ保育園施設長)
賀川 祐二 (NPO法人 病児保育を作る会代表理事)
長 加誉 (区民公募委員)
横井 貴広 (区民公募委員)
宮田 宏子 (立花幼稚園長)
柿沼 広美 (菊川小学校長)
渋谷 俊昌 (両国中学校長)
山中 育恵 (文花保育園長)

<欠席委員>

- 西村 孝幸 (小梅保育園長)
野原 健治 (社会福祉法人興望館理事長)
浅見 佳子 (相模女子大学専任講師)
岡田 真 (江東学園幼稚園長)
押田 剛 (主任児童委員)
小川 政美 (吾嬬立花中学校PTA会長)
甚野 永子 (墨中地区青少年育成委員会委員長)
宮村 柚衣 (ちやのま保育園代表)
田中 千春 (区民公募委員)
山岸 優子 (区民公募委員)
米谷 亮比古 (区民公募委員)

「議題1 コロナ禍による子育て世帯への影響等調査について」に対する委員意見及び事務局回答

委員意見 1	<ul style="list-style-type: none"> ・表題と調査の目的の、コロナ禍かコロナ下のどちらかに統一してはいかがでしょうか。表題は「コロナ下における子育て世帯への影響調査」あるいは、「コロナ禍の子育て世帯への影響調査」 ・Q 4 年齢が小さい子どもから回答するのに、一人目のお子さんは間違いやすいのではないのでしょうか。年長から回答されても問題ないと思います。また、小さい方から回答するなら、解答欄の一番に、「なし」：保育施設は利用していない を持ってきた方がよくはないのでしょうか。 ・Q 6 新型コロナウイルス感染症のまん延後、『ご家族の中で』自宅でテレワークを実施した方はいますか。（『ご家族の中で』を追記） ・Q 7 自宅でテレワークを実施した『方』はどなたですか。（『保護者』を『方』に変更）（保護者以外のテレワークはどうしますか。） ・Q 8 保育園に通っていた（保育園は休園ではありませんでしたので）という選択肢は要らないのでしょうか。 ・Q 9 影響がなかった → 特に影響はなかった ・Q 1 4 祖父母または兄弟姉妹（この場合、兄弟姉妹は親ののでしょうか。誰のかよくわからないと思います。）
事務局回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえ、調査票の修正を検討いたします。 ・Q 7 のテレワークに関する設問は、保護者の就労形態（テレワーク実施の有無）と子育てへの影響の関係性把握のために設けました。 ・Q 8 については、原則休園とさせていただいていましたので、選択肢 5 を設けました。
委員意見 2	<p>調査方法は紙面での郵送でしょうか。紙面送付でもQRコードなどでのURLからの回答にした方が迅速で実質的な調査になると思います。</p>
事務局回答 2	<p>・インターネット（区ホームページ）上での調査となります。アンケートの周知用チラシ等には、QRコードを掲載し、直ちに回答フォームにアクセスできるようにいたします。</p>
委員意見 3	<p>Q 9 : 「子ども」 → 「お子さん」 Q 1 0 : 「様子」 → 「こと」 * 過ごす様子ー過ごすこと Q 1 2 : 「子ども」 → 「お子さん」 Q 1 7 : 「昼食」 → 「食事」 Q 2 5 : 「コロナ下」 → 「コロナ禍？」</p>
事務局回答 3	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえ、調査票の修正を検討いたします。 ・Q 1 7 については、休園・休校により、保護者が子どもの昼食の準備が大変という報道等もありましたので、あえて「昼食」と表記しています。 ・Q 2 5 については、コロナの影響下という意味で「コロナ下」としています。
委員意見 4	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票訂正ありがとうございました。削減してもかなりの分量なので、記入に時間がかかる事が予想され、子育て中の方は渋るかもしれません。集めたご意見を今後どう活かしていくかをもう少し明確（メリットがある事）にして協力を仰ぐことが必要だと思います。（必要な支援策をあきらかにするとはありますが） ・このコロナ禍における子育て家庭への影響は継続中なので、支援策はすぐに実行が必

	<p>要です。迅速な対応があると意見が反映されるという確証が得られ、今後のアンケートにも良い影響があると思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てひろばは緊急事態宣言中も電話、メールの相談は続けていましたが少なく、直接門の前まで話に来たり、近くであった時に話してくれる人が多く、会って話す事の必要性を感じました。
事務局回答 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、調査にご協力いただくことによるメリットを示すことは非常に重要であると認識しています。区の子育て環境を充実させていくことを目的とした調査ですので、その旨の明記も含め検討させていただきます。 ・アンケート結果を受け、早期実現に向け、鋭意取り組んでいきます。 ・対面での対話の重要性について、今後の施策検討の参考にさせていただきます。
委員意見 5	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 5 の素案では恐らくアンケートに答える方は出だしの部分で国勢調査と勘違いするような感じでしたが資料 4 の修正案では Q 6 からコロナに関連した質問がされ「コロナ禍による子育て世帯への影響調査」という名に相応しい調査票だと個人的には思いました。実際に資料 4 のアンケートを自分でやってみた所、質問の数も丁度良くアンケートに答える側としてはそこまで負担を感じないのではと思います。 ・区内小学校の中には P T A 会費を学校によって毎月、まとめて 3 カ月、6 カ月、1 年分納入など(各小学校平均 1 カ月 400 円位)様々ですが、コロナの影響で収入が減り何ヶ月かまとめて納める学校では P T A 会費を納められない家庭があるようです。こういうアンケートを通してコロナ禍において経済的、精神的に苦勞されている子供を持つ保護者の意見を聞いて頂いて何かしらの手を差し伸べて頂ければと思います。
事務局回答 5	<ul style="list-style-type: none"> ・自由意見欄で様々なご意見を伺わせていただければと思います。そのためには、アンケートの認知率の向上と回答のしやすさが重要と思いますので、鋭意努力してまいります。
委員意見 6	<ul style="list-style-type: none"> ・調査目的・対象者が明記され回答者にわかりやすくなりました。 ・設問が減り受け取った対象者が回答しやすく修正され良かったと思いました。 ・コロナ禍の設問が増えており、影響がよりわかりやすく把握できると思いました。 ・対象が就学前の子どもを持つ保護者：多数子どもがいる家庭では、コロナ禍の中、兄弟の存在が子育てに影響を及ぼしたと思いますが（休学中の影響）Q 3 子どもの数、Q 4 に加えないのでしょうか。Q 8 の親族の保育を兄弟がしていた可能性はないのかなと考えました。 ・Q 5 の就労状況：コロナ禍での失職の項目は必要ないでしょうか。 ・Q 1 0 の良い影響の選択肢が分かりにくいと感じました（悪い影響は多数あり選びやすいです。）。 ・委員の意見の中に、コロナ禍で、初産で施設と繋がっていない母親は、家にこもり相談も出来ずうつ状態になっている方が多数存在しています。声を出せないで虐待に（精神的虐待やネグレクト）走ってしまう方を救って頂きたいです。発達に影響が出てしまうことを防いでいただきたいです。
事務局回答 6	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえ、調査票の修正を検討いたします。 ・Q 3 については、同居している子どもの人数のため、就学後のお子さんも含めて回答いただくことを想定しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・Q 4については、未就学児の在宅子育て世帯と保育園等に預けている子育て世帯の影響の違いを把握するための設問として設けました。 ・Q 5については、就労状況と子育てへの影響との関係性把握のため、本選択肢とさせていただきます。 ・本調査結果を子育て支援施策の実現に繋げ、コロナ禍で様々な影響を受けている子育て家庭への支援を、より一層充実させていきたいと思えます。
委員意見 7	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の会議で、内容について委員の皆様からの意見を伺い、変更していただいたことで、より調査対象者の方々が、答えやすい内容、印象になったと感じました。全て必要な設問にはなってくるのかとは思いますが、やはり量が多いということは感じてしまうのかと思いました。「こんなにあるのであれば、私は答えなくていい」と受け取られてしまうのはもったいないと感じましたが、削減するのも大変なことかと存じますため、答えることによって、その後がどのように反映していくか、この調査によって良い方向にいくことが明確に記載されていると、より答えやすいと感じました。 ・いつも様々な意見をまとめていただき、また墨田区がよりよくなるようにご配慮いただき、ありがとうございます。
事務局回答 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、調査にご協力いただくことによるメリットを示すことは非常に重要であると認識しています。区の子育て環境を充実させていくことを目的とした調査ですので、その旨の明記も含め検討させていただきます。
委員意見 8	<ul style="list-style-type: none"> ・Q 16について ストレスの変化を知りたいということですので、「流行前に比べて、非常にストレスを感じている」や「非常にストレスが高くなった（大きく？強く？）」などはっきりどう変化したかを聞くよう回答選択肢にする方が良いと思えます。
事務局回答 8	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえ、調査票の修正を検討いたします。
委員意見 9	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもスリムになって、アンケートの目的も明確になったかと思えます。 ・対象者が未就学児を持つ親ということで、幅広い育児世代においては限定的になったかと思えますが、自由記述ができ、施設に繋がっていない・自宅保育している人にも回答する余地ができてよかったです。 ・回答方法の検討や区民への周知の部分でお役に立てることがあれば動きたいと思っています。
事務局回答 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ご協力に感謝いたします。今後、アンケート公表の際は、周知にご協力いただきますようお願いいたします。
委員意見 10	<ul style="list-style-type: none"> ・設問の意図から「オンラインでの相談窓口」の設置が急務と感じられるので、既に実施してはいかがでしょうか。 ・墨田区の「新型コロナウイルス感染症」に関する情報提供が適切であったか、希望する情報収集方法なども設問にしてはいかがでしょうか。 ・子どもの「コロナ鬱」が指摘されている。「子ども達への気持ちの変化」のアンケート実施は考えていないのでしょうか。 ・アンケート参加特典として「マイナポイント」の付与などが無いと真面目に参加しないのではないのでしょうか。 ・本当に子育て支援が必要な家庭の意見も受け取れるような調査にして頂きたいです。

事務局回答 10	<ul style="list-style-type: none"> ・本アンケート結果を関係部署にも情報提供の上、施策実現に向けての検討材料にしていただきたいと思います。 ・「新型コロナウイルス感染症」の墨田区からの情報提供方法についても重要な設問と思います。本アンケートでは、設問数削減により回答者の負担軽減も図っているところですので、掲載は見送りたいと思います。 ・子ども自身に対するアンケートについては、今回のアンケート結果を教育部局に情報提供し、今後、必要に応じて連携・協力等を図っていききたいと思います。 ・アンケートの参加特典の重要性についてはご指摘のとおり認識しております。一方で区の歳入は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅な減収が見込まれ、極めて厳しい財政状況が数年間継続することが想定されます。本アンケートについては、無償でご協力いただくことにご理解をいただきたいと思います。 ・様々なご意見を伺えるように自由意見欄も設けたところです。本アンケートをいかに周知し、回答していただくかが一番重要なことと思いますので、回答しやすいアンケート作りと周知に努めていきます。
委員意見 11	<ul style="list-style-type: none"> ・前回のものからずいぶん精査され、回答しやすくなっていると思います。 ・Q4について 設問では、「年齢が低いお子さんから順に回答してください」とありますが、回答欄は「一人目のお子さん」（年齢が一番高いのでは？）から順に表記されています。混乱するので、設問の「年齢が低いお子さんから順に回答してください」は削除してよいのではないのでしょうか。入れるなら、「年齢が高いお子さんから～」または、「就学前のお子さん全てについて回答してください」などとしてはいかがでしょうか。
事務局回答 11	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を踏まえ、調査票の修正を検討いたします。
委員意見 12	<ul style="list-style-type: none"> ・修正案のとおりでよいと思います。前回の皆さんのご意見を丁寧に反映していただき、回答者にとってわかりやすく答えやすいアンケートになったと思います。結果を区の施策に生かしていただけたらありがたいです。
委員意見 13	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票（修正案）でよいと思います。
委員意見 14	<ul style="list-style-type: none"> ・素案からの変更点について 1の目的の明確化は、はっきりと意図がわかり、的が絞られるのですっきりしました。 5の相談状況に関する設問の新設は、つながるための具体的な施策に行けるためのステップになると思いました。 6について賛同いたします。 ・修正案での調査の設問がだいぶ減って26問になり、アンケートに人を募りやすく応えやすいと感じました。

「議題2 小規模保育事業所の認可にあたっての意見聴取について」に対する委員意見及び事務局回答

委員意見 1	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての保育園に共通ですが、遊び場の確保が大変そうです。せめて3歳以降は、広い場所で存分遊べるように工夫が必要かと思います。
事務局回答 1	<ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見を関係者と共有し、保育の質の向上に繋がられるようにします。
委員意見 2	<ul style="list-style-type: none"> ・特にありません。
委員意見 3	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児対策として不可欠の施設であると考えます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を出た後の受け入れ先についても、支援が必要かと思えます。 ・利用児の変化によって、定員が変更できる柔軟な対応ができることも、施設運営を継続できる大切な要素であると考えます。
事務局回答 3	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園後の受け皿を確保するようにします。
委員意見 4	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社に偏見があるのかもしれませんが、利益が無くなったら撤退する事だけではないでほしいです。元々ベビーシッター派遣の会社なので、保育士の確保は大丈夫だと思いますが、待機児で困っている方々の救いになってほしいです。
事務局回答 4	<ul style="list-style-type: none"> ・区としても、事業者に対し責任を持った保育所運営を行うよう指導します。
委員意見 5	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育事業所の件については勉強不足な部分がありますが、比較的小さな施設で運営する事が可能で、その規模の特性を生かしたきめ細かな保育が実施出来るという事で未就学児を持つ保護者にとっては非常に有難い施設だと思えます。
委員意見 6	<ul style="list-style-type: none"> ・定員に合わせた、人員・保育室面積など遵守されていくように、定期的な監査をしていただきたいです。 ・コロナ禍の中、換気など施設設備もしっかり見ていただき、保護者が安心して保育をお願いできるよう指導をお願いします。
事務局回答 6	<ul style="list-style-type: none"> ・特定地域型保育事業（小規模保育事業）指導検査基準に基づき、定期的に指導検査を実施し、小規模保育事業者が適正な運営を行うことができるよう、必要に応じ指導・助言を行ってまいります。
委員意見 7	<ul style="list-style-type: none"> ・両国方面は保育園数も多くないため、特に乳児は入りづらいという現状から利用者のニーズはあると感じました。 ・今回の議題とはずれてしまうのですが、認証保育所は認可に入れない方が一時的に入る場所として認識されて、見学にくる方が年々増えております。また、認証保育所の需要がなくなっているように感じております。
委員意見 8	<ul style="list-style-type: none"> ・確認いたしました。
委員意見 9	<ul style="list-style-type: none"> ・異論ありません。 ・当然なされることだとは思いますが、川のすぐ近くなので、水害時、水害が予想される荒天・震災発生時の河川逆流時などを想定されたシミュレーション、対応が事前に検討され、職員・子ども達（避難訓練などで）・保護者の方で共有されていると良いかと思いました。
事務局回答 9	<ul style="list-style-type: none"> ・区では、水害、火事、地震等、様々な災害に対する避難訓練を行うよう各園に指導しております。
委員意見 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ル・アンジェ株式会社はどのような実績がある会社なのでしょうか。 ・両国一丁目の3歳児未満人口と保育ニーズはどれくらいでしょうか。 ・他の小規模保育所との距離感はどれくらいでしょうか。
事務局回答 10	<ul style="list-style-type: none"> ・ル・アンジェ株式会社は、小規模保育事業所3所のほか、ベビーシッター事業を実施しています。 ・両国一丁目の3歳未満人口は令和3年1月1日時点で46名です。地域の保育ニーズは高いと認識しております。 ・区南部にある他小規模保育所との直線距離は次のとおりです。 ちやのま保育園両国駅前園 約750m

	ぶどうの木保育室 約1,650㎡ ちやのま保育園 約2,450㎡
委員意見 11	・地域の関係者の皆さんに異議がなければ区民のために是非とも認可していただけたらと思います。
委員意見 12	・意見はありません。
委員意見 13	・生活リズムの違い、年齢の動きに合わせたフロア環境をどのように整えるのでしょうか。 ・室内の遊びの環境（おもちゃ、稼働遊具）の整備は整っているのでしょうか。 （静的・動的な遊びの保障） ・戸外遊びの充実に対するカリキュラムはどのようになっていますか。
事務局回答 13	・ル・アンジェ株式会社から、質問事項について小規模保育事業所として問題ない環境整備を行うことが確認できました。開園後も適切な保育が提供されるよう支援していきます。